

2025年4月30日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

# 中小企業景況調査(2025年4月)要約版

[概況] 中小企業の売上げDIはマイナス幅が縮小  
売上げ見通しDIは低下

## 1 売上げ

2025年4月の売上げDIは、3月からマイナス幅が1.2ポイント縮小し、▲2.0となった。

今後3カ月(4月～6月)の売上げ見通しDIは、3月から3.7ポイント低下し、▲0.3となった。

## 2 利益

利益額DIは、3月から2.5ポイント低下し、0.5となった。

## 3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、3月から1.7ポイント上昇し、12.4となった。

仕入価格DIは、3月から0.4ポイント低下し、26.4となった。

従業員判断DIは、3月から2.4ポイント上昇し、10.6となった。

生産設備判断DIは、3月からマイナス幅が2.6ポイント縮小し、▲5.5となった。

|         |         |                                                                                  |
|---------|---------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ＜調査の要領＞ | 調査時点    | 2025年4月中旬                                                                        |
|         | 調査対象    | 三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏451社、中京圏143社、近畿圏306社)<br>業種構成: 製造業607社、建設業82社、運輸業54社、卸売業157社 |
|         | 有効回答企業数 | 552社                                                                             |
|         | 回答率     | 61.3%                                                                            |

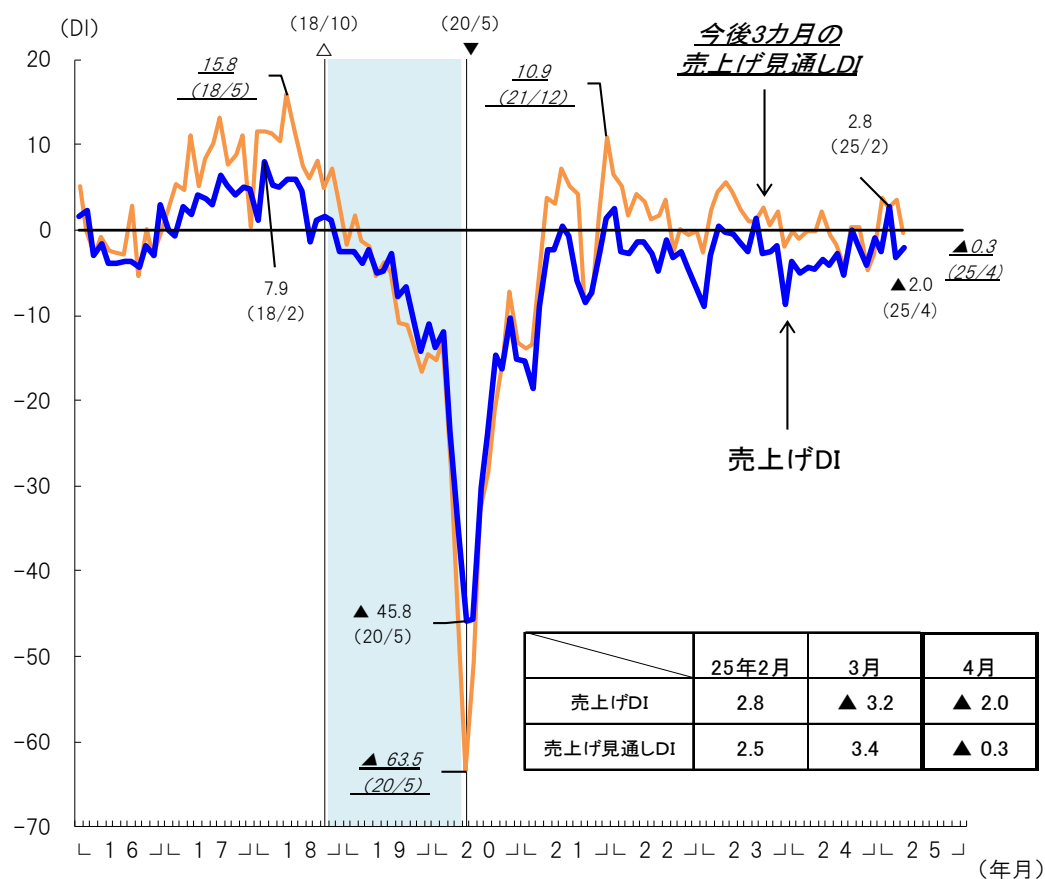
### ＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704 (担当:片山、立澤)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

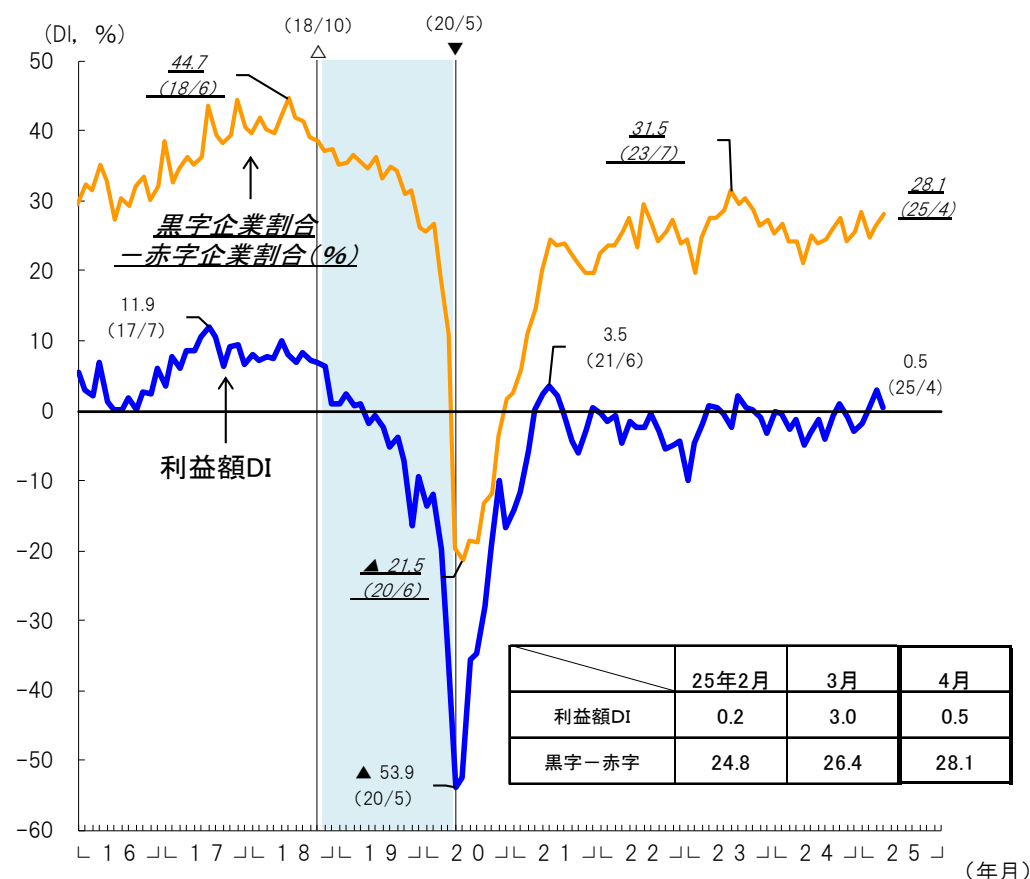
- 売上げDI(「増加」－「減少」)は、3月からマイナス幅が1.2ポイント縮小し、▲2.0となった。
- 売上げ見通しDI(「増加」－「減少」)は、3月から3.7ポイント低下し、▲0.3となった。
- 利益額DI(「増加」－「減少」)は、3月から2.5ポイント低下し、0.5となった。
- 黒字企業割合－赤字企業割合は、3月から1.7ポイント上昇し、28.1となった。

図－1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドウ部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

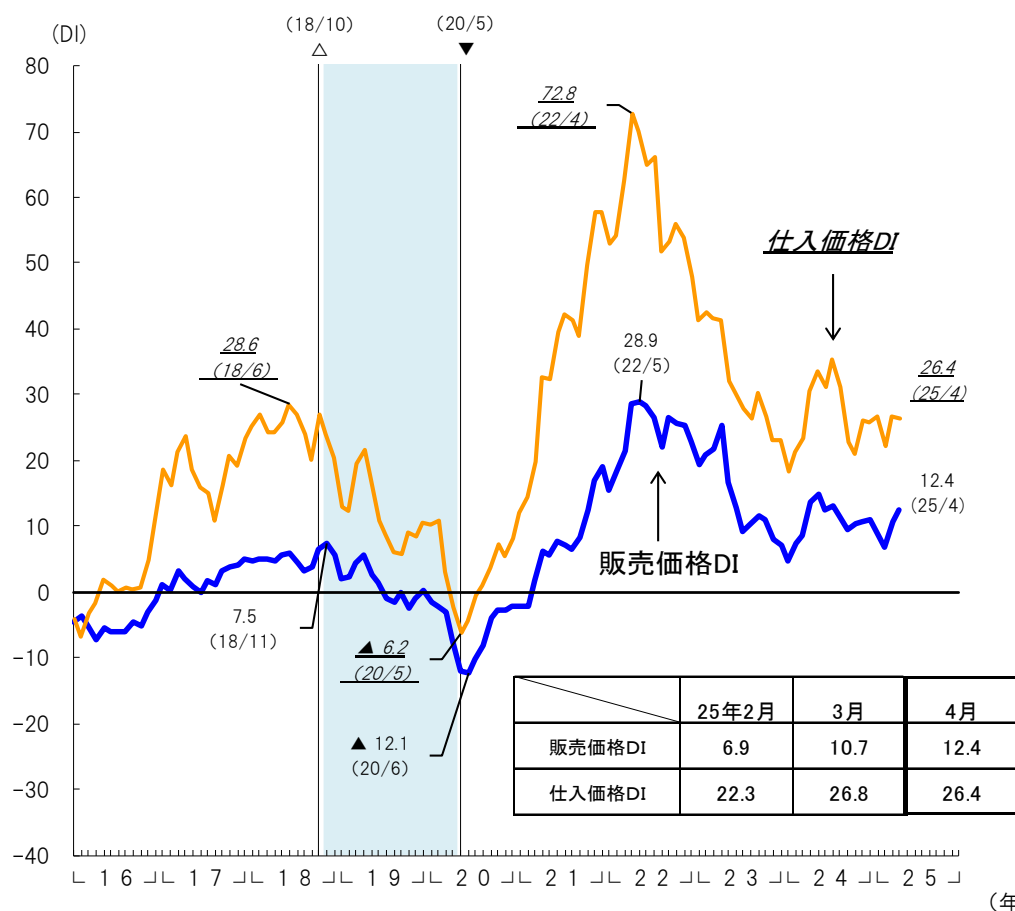
図－2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による（季節調整値）。

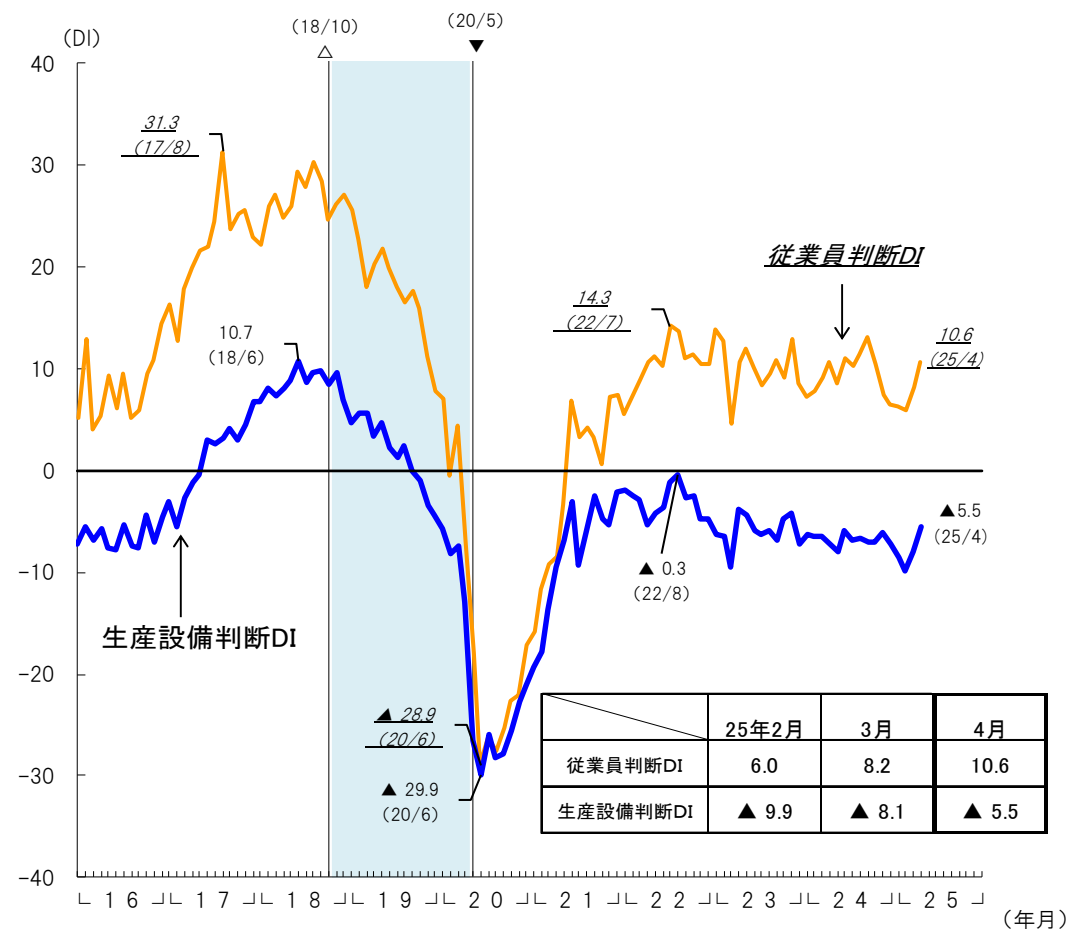
- 販売価格DI(「上昇」－「低下」)は、3月から1.7ポイント上昇し、12.4となった。
- 仕入価格DI(「上昇」－「低下」)は、3月から0.4ポイント低下し、26.4となった。
- 従業員判断DI(「不足」－「過剰」)は、3月から2.4ポイント上昇し、10.6となった。
- 生産設備判断DI(「不足」－「過剰」)は、3月からマイナス幅が2.6ポイント縮小し、▲5.5となった。

図－3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」－「低下」企業割合。  
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」－「低下」企業割合。

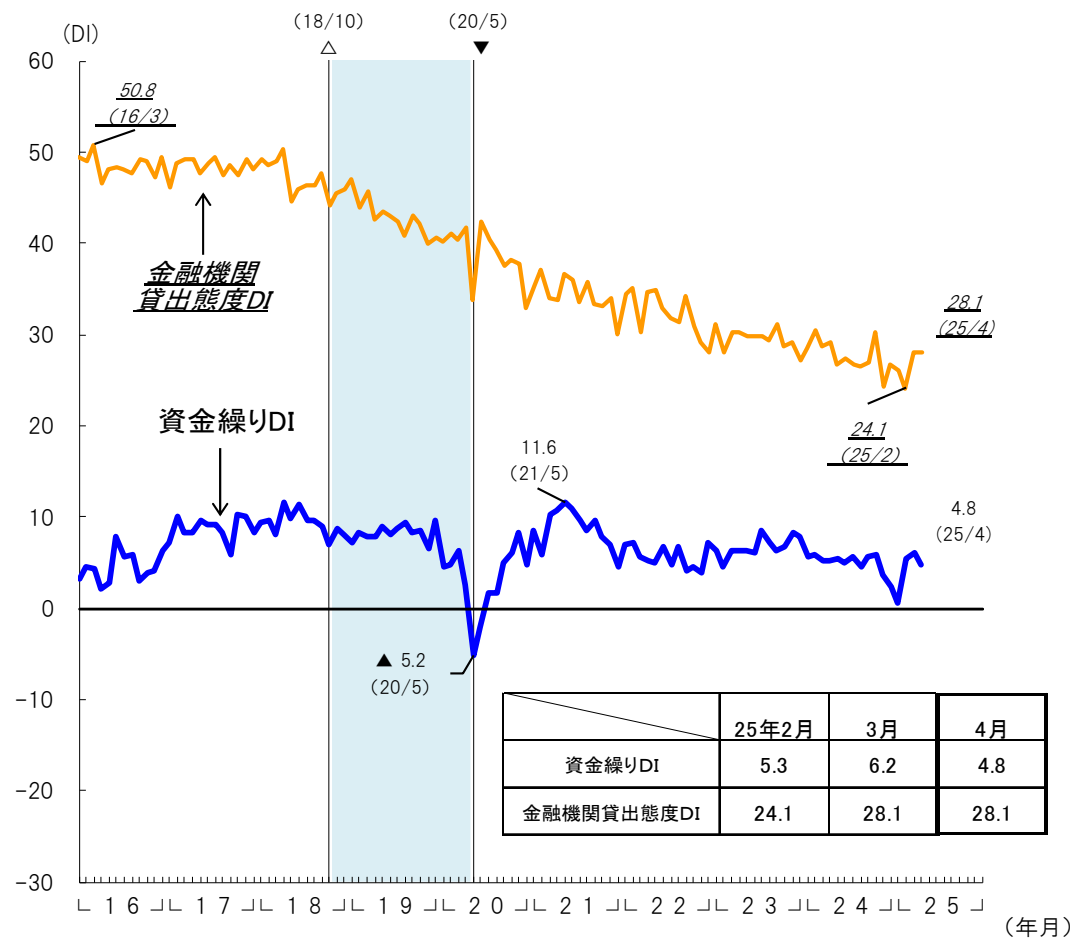
図－4 従業員状況、生産設備の判断



(注) 1 製造業の数値。  
2 従業員判断DIは「不足」－「過剰」企業割合(季節調整値)。  
3 生産設備判断DIは「不足」－「過剰」企業割合(季節調整値)。

- 資金繰りDI(「余裕」－「窮屈」)は、3月から1.4ポイント低下し、4.8となった。
- 金融機関貸出態度DI(「緩和」－「厳しい」)は、3月から横ばいで推移し、28.1となった。

図－5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



- (注) 1 資金繰りDIは「余裕」－「窮屈」企業割合(季節調整値)。  
 2 金融機関貸出態度DIは「緩和」－「厳しい」企業割合。